

第1号議案

道路改築事業

国道353号 祖母島～箱島バイパス 渋川市～東吾妻町

着工年度

平成19年度

評価理由

5年継続

1. 事業の目的

国道353号祖母島～箱島バイパスは、地域高規格道路である「上信自動車道」の一部を形成しており、川島バイパス、金井バイパスと一体となって整備することで、国道353号の通行の安全を確保するとともに、吾妻地域と県央地域における医療施設間の搬送時間の短縮及び、関越自動車道へのアクセス向上による誘客支援を図る重要な路線である。



法面崩落の状況(H15)



冬期の路面凍結状況



2. 事業概要と進捗状況

事業概要

事業場所	渋川市祖母島～吾妻郡東吾妻町箱島	
区分	今回	事業当初
全体事業費	9,100百万円	9,100百万円
全体事業費増減の理由		
事業期間	H19～H29	H19～H29
事業内容	道路延長 4,000m 幅員 10.5m	道路延長 4,000m 幅員 10.5m

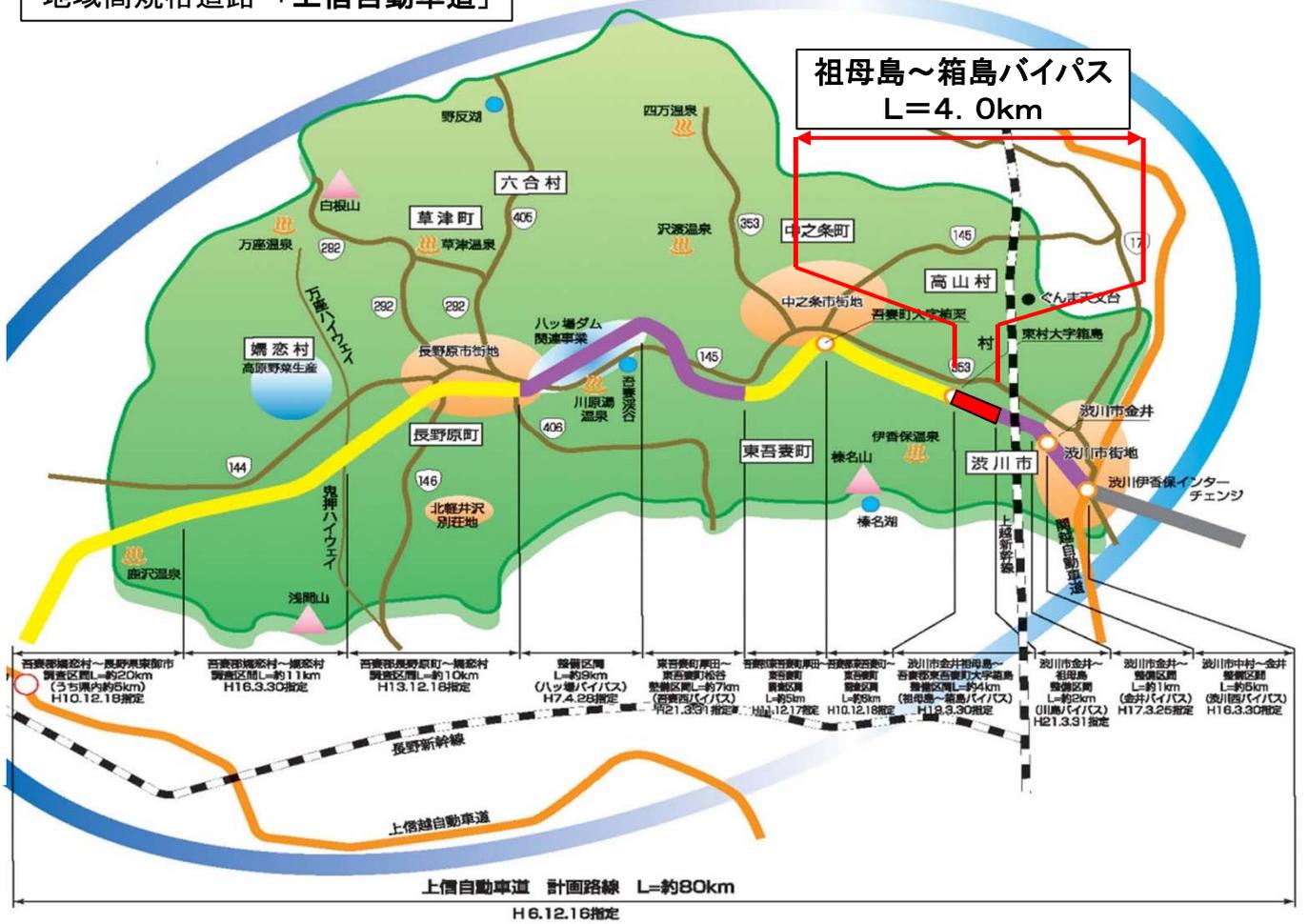
事業経緯

進捗状況

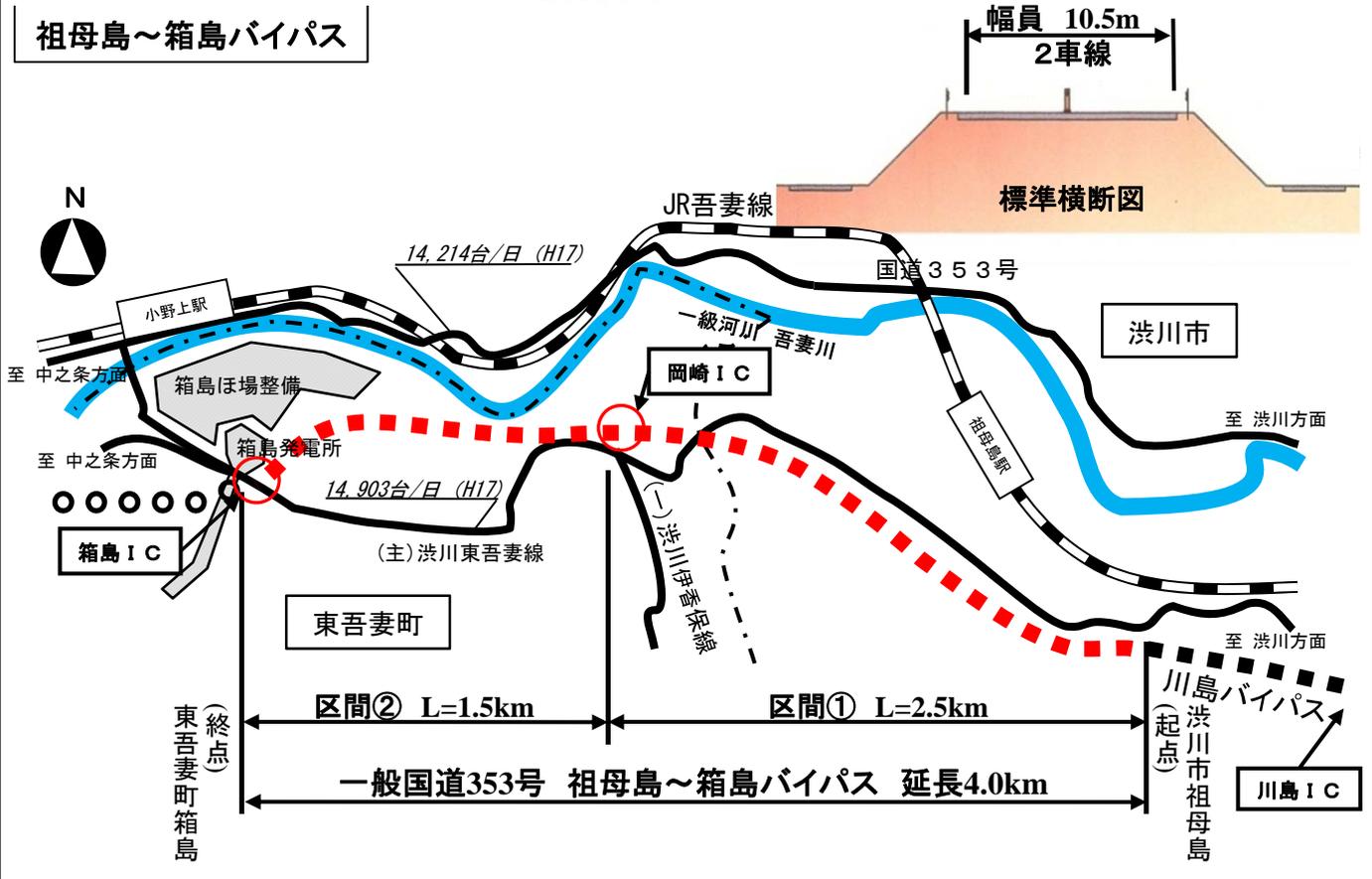
年度	主な経緯	全体計画	現在の進捗状況 (進捗率)	前回評価時の進捗状況 (進捗率)
H19	道路概略設計 道路予備設計 環境調査(猛禽類)	事業費 9,100百万円	709百万円 (7.8%)	/
H20	路線測量 環境調査(大気質)	用地買収 150,100㎡	0㎡ (0.0%)	
H21	道路詳細設計 環境調査(騒音、振動)	計画延長 4,000m	0m (0.0%)	
H22	用地調査			

2. 事業概要と進捗状況(図面・写真等)

地域高規格道路「上信自動車道」



祖母島～箱島バイパス



3. 事業の目的・必要性に変化はあるのか？

- ・近年も自然災害による通行止めが発生しており、安心安全な道路の確保が急務である。
- ・地域高規格道路の整備により、吾妻地域と県央地域間の物流・観光等の活性化や、医療施設間の患者搬送時間短縮が望まれている。
- ・上信自動車道は「群馬がはばたくための7つの交通軸構想」における吾妻軸の主軸として早期整備を図ることで、吾妻地域のみならず、群馬県全体への波及効果が期待される。



■上信自動車道の完成により、移動時間が**25分短縮**となる



4. 目的を達成するための事業(手段)は適当か？

- ・事業規模が大きく、今後の集中投資が必要となることから、計画的な投資スケジュールを作成し補助事業所管省庁との事前協議を行っており必要な予算確保に努めている。
- ・H23年度から渋川土木事務所に上信自動車道専任の係を新設し、組織体制の強化を図った。
- ・優先区間を設定して事業費を投入することで、事業効果の早期発現を図る。

区間①(2.5km): **H28年度**目標



区間②(1.5km): **H29年度**目標

費用便益分析

単位:千円

		計 画 時		今 回 再 評 価 時		備 考	便 益 説 明
算出根拠マニュアル		費用便益分析マニュアル 国土交通省 道路局、都市・地域整備局 平成15年8月		費用便益分析マニュアル 国土交通省 道路局、都市・地域整備局 平成20年11月			
基準年		平成18年		平成23年			
区分	項目	現在価値	構成比	現在価値	構成比		
費用 (千円)	工事費	6,710,000	95.9%	8,004,000	95.9%		
	維持管理費	290,000	4.1%	343,000	4.1%		
費用合計(C)		7,000,000		8,347,000			
便 益 (千円)	走行時間短縮便益	10,426,000	93.4%	15,886,000	159.4%		
	交通事故減少便益	0	0.0%	497,000	5.0%		
	走行経費減少便益	733,000	6.6%	-6,417,000	-64.4%		
便 益 合 計 (B)		11,159,000		9,966,000			
費用対効果分析(B/C)		1.59		1.19			

5. 事業が長期間要している理由は？

元々が長期計画

不測の事態により長期化】

- ・地域高規格道路の整備は地元を与える影響が非常に大きいことから、地元市町村や地域住民との合意形成に十分な時間をかけた上で計画を具体化する必要があった。
- ・優先工区を設定して計画的に事業を推進するが、事業延長L=4.0km、全体事業費9,100百万円と事業規模が大きいため、用地確保及び埋蔵文化財調査など、工事着手までに長期間を要する。

地域高規格道路の整備により地域間の円滑な移動が確保される反面、周辺に住まわれている方にとっては不便に感じる部分があります。

- 原則として平面交差がないように整備する。
- 沿道からの出入りを制限する。
- 盛土構造による地域分断。など



地元説明会の様子(H22.3.17)

6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし ・ 事業計画の変更 ・ スケジュールの変更

本事業は、吾妻地域と県央地域を連携する国道353号の通行の安全確保とともに、医療施設間の搬送時間の短縮及び、関越自動車道へのアクセス向上による誘客支援を図るために計画された地域高規格道路「上信自動車道」の整備である。

事業規模が大きく、地域への影響が大きいことから、地元市町村や地域住民との合意形成に長期間を要し、当初スケジュールより若干の遅れが生じたものの、現時点では道路計画や構造についての同意が得られ、H22年度には用地境界立ち会い、建物調査等に着手したところである。

今後は、これまでの遅れを回復するために、集中投資に向けた予算確保に努めるとともに、大幅な事業進捗を図るため平成23年度から組織体制を強化したところである。

当初計画どおり平成28年度の部分供用及び、平成29年度の全線供用に向けてバイパス整備を強力的に推進したい。